【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公表番号】特表2003-527112(P2003-527112A)
【公表日】平成15年9月16日(2003.9.16)
【出願番号】特願2001-567388(P2001-567388)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/06　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/68　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/483　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　27/447　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｑ　1/06
Ｃ１２Ｑ　1/68　Ａ
Ｇ０１Ｎ　33/483　Ｆ
Ｇ０１Ｎ　27/26　３１５Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年7月20日(2011.7.20)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２８】
本発明のさらなる態様では、サンプル中のEimeriaを同定する方法であって、該方法は、
試験されるべきゲノムテンプレートDNAを含むサンプルを得る工程と、
1つまたは複数の身元が知られた標準のゲノムDNAを得る工程と、
(i)配列番号25および配列番号26に記載のDNA配列またはそのアニーリング等価物の少なくとも15個の連続した塩基を含むプライマー、または
(ii)配列番号27および配列番号28に記載のDNA配列またはそのアニーリング等価物の少なくとも15個の連続した塩基を含むプライマーからなる群から選択されるPCRプライマー対を得る工程と、
該プライマー対を使用してテンプレートDNA領域をPCRによって増幅して、上記サンプルおよび上記1つまたは複数の身元が知られた標準から1つまたは複数のPCR産物を産生させる工程と、
上記サンプル由来の1つまたは複数のPCR産物と上記1つまたは複数の身元が知られた標準の1つまたは複数のPCR産物とを比較する工程と、
上記サンプル内に存在するEimeria種を同定する工程とを包含する方法を提供する。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３３】
好ましくは、サンプル由来の1つまたは複数のPCR産物を1つまたは複数の身元が知られ

た標準の1つまたは複数のPCR産物とゲル電気泳動によって比較する。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５４】
一般に、サンプル中に存在するEimeria種を同定するために、1つのプライマーセットを使用した1回のみのPCRが必要である。しかし、サンプル内に存在する種の身元(同一性)をさらに明確にするために、第2のプライマーセットを使用した並行PCRを利用し得る場合があることが理解されるであろう。同様に、PCR条件の至適化の際に、1回のPCRにおいて両方の新規のプライマーセットを使用することができる。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５６】
少なくとも1つの単一特異性コントロールサンプルまたは種の身元が知られた標準を使用して各PCRを行う。1つを超える公知の種を含むコントロールサンプルを検討することができることが認識されるであろう。サンプルに対して、EimeriaテンプレートDNAが存在しないネガティブコントロールもまた行う。サンプルに対して当該分野で日常的に使用される他の標準的なコントロールを使用することができることが認識されるであろう。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５７】
既知のEimeria種のコントロールまたは標準のEimeriaゲノムDNAを未知のサンプルのゲノムDNAと同様にして精製することができる。例えば、Medichick Laboratories(オーストラリア)またはAnimal Research Institute of Qeensland Department of Primary Industries(オーストラリア)から得た身元が知られたEimeriaの研究株をこの目的に利用することができる。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６２】
未知のサンプルおよび関連コントロールサンプルまたは身元が知られた標準のITS-1およびITS-2領域の増幅から得たPCR産物を電気泳動での分離によって検出することができる。PCR産物サイズおよび/または配列の小さな相違を特に感知する電気泳動技術が好ましい。例えば、サンプル間の配列の1塩基の変化または1ヌクレオチドによる長さの変異を検出する能力を有するように条件を最適化した場合、SSCP(一本鎖配座多形)および/またはDPGE(変性ポリアクリルアミドゲル電気泳動)が特に適切である。さらに、これらの技術を、多数のサンプルのスクリーニングに容易に適用することができる。
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】請求項２０

【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項20】
サンプル中のEimeriaを同定する方法であって、該方法は、
試験されるべきゲノムテンプレートDNAを含むサンプルを得る工程と、
1つまたは複数の身元が知られた標準のゲノムDNAを得る工程と、
下記(i)または(ii)からなる群から選択されるPCRプライマー対を得る工程と、
(i)配列番号25および配列番号26に記載のDNA配列またはそのアニーリング等価物の少なくとも15個の連続した塩基を含むプライマー、または
(ii)配列番号27および配列番号28に記載のDNA配列またはそのアニーリング等価物の少なくとも15個の連続した塩基を含むプライマー、
前記プライマー対を使用してテンプレートDNA領域をPCRによって増幅して、前記サンプルおよび前記1つまたは複数の身元が知られた標準から1つまたは複数のPCR産物を産生させる工程と、
前記サンプル由来の1つまたは複数のPCR産物と前記1つまたは複数の身元が知られた標準の1つまたは複数のPCR産物とを比較する工程と、
前記サンプル内に存在するEimeria種を同定する工程とを包含する、方法。
【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】請求項２５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項25】
請求項20～請求項24のいずれか1項に記載の方法において、前記サンプル由来の前記1つまたは複数のPCR産物を前記1つまたは複数の身元が知られた標準の前記1つまたは複数のPCR産物とゲル電気泳動によって比較する方法。
【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４４】
本発明によれば、PCRプライマー(またはオリゴヌクレオチドプライマー)は、プライマー配列に実質的に相補的な配列を有するテンプレートDNA領域に特定のPCR条件下で特異的にハイブリッド形成することができ、かつ、PCR中のDNAの伸長の開始に適用されるオリゴヌクレオチドである。相補配列は、アデニンがチミジンと対を形成するか、またはグアニンがシトシンと対を形成する相補物と、ワトソン-クリック結合を形成することができることが理解されよう。典型的には、各プライマーをプライマー対の一員(a member of a primer pair)として使用され、それは増幅されるべきテンプレートDNAの5'末端とハイブリッド形成する5'上流プライマー、および増幅されるべきテンプレートDNAの3'末端の相補物とハイブリッド形成する3'下流プライマーが含まれる。